

議会だより

第27号

2020年11月



久万高原 秋の大感謝祭「久万高原でドライブするっ〜!」

10月18日に道の駅天空の郷さんさん近辺で行われたイベントの様子です。さんさんの「農産物等直売所出荷者協議会」が主催し、新型コロナウイルス感染症対策のために、ドライブスルー形式により久万高原町の特産品を大特価で販売しました。取材中も県外ナンバーを含めたたくさんのお客様が会場に入ってきていました。



主な内容

9月定例議会概要	2
議案トピックス	3
本会議・常任委員会 議案審議	4
一般質問	10
おしらせ・編集後記	16

令和2年9月定例議会

9月21日～10月2日

9月21日から10月2日までの12日間の会期で開催された。

第1日目に一般質問を行い、5議員が持続可能なまちづくり推進のための行財政改革、障がい者福祉、コロナ禍の学校教育・感染症対策、コロナ禍での支援、町総合計画等を取り上げ、町政を質した。

第2日目に、補正予算の専決処分報告2件、決算認定4件、補正予算10件の制定、工事請負契約の締結1件、教育委員会委員の任命、人権擁護委員の推薦、選挙管理委員会委員の選挙等を審議し、担当常任委員会に付託した。

第3日目に総務文教厚生常任委員会、第4日目に産業建設常任委員会を開き、付託された議案を審議、採決した。

最終日に、各常任委員会付託議案と共に、追加議案として専決処分の報告1件について全員一致でこれを可決し、予算に関する特別委員会を設立し、閉会した。

令和2年度9月補正後予算

総 額	171 億 9133 万円	(5 億 6596 万円増)
一般会計	112 億 2222 万円	(4 億 9441 万円増)
特別会計	38 億 947 万円	(3377 万円増)
事業会計	21 億 5963 万円	(3777 万円増)

主な歳入

国庫支出金	2 億 6179 万円
新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金	2 億 186 万円
繰入金	3198 万円 (各基金から繰入)
繰越金	2 億 584 万円

主な歳出

庁内ネットワーク仮想化業務委託料	7788 万円
地域公共交通機関高度化支援事業	4900 万円
病院事業会計繰出金	1725 万円
公立学校情報通信ネットワーク環境整備工事	8132 万円
公共土木施設（12カ所）路面整備等	1900 万円

議案トピックス

GIGAスクール構想が開始されます！

全小中学生一人に一台のタブレット配備

国が2023年度までの実現を目指していたGIGAスクール構想が、新型コロナウイルスの感染拡大によってオンライン授業の環境を急いで整える必要が出てきたため、目標を20年度に前倒しすることを決定しました。本町でも未来の学びに向けて、本事業が前倒しで実施されます。

GIGAスクール構想とは、義務教育を受ける児童生徒のために、一人一台の学習者用パソコンと高速ネットワーク環境などを整備する5年間計画です。目的は子供たち一人一人の個性に合わせた教育の実現にあります。

GIGAスクール構想の重要ポイント

●校内LANの整備により高速ネットワークが可能となります。久万高原町でも、全小中学校に校内LANとWiFiが整備されます。

●学習者用機器の導入。久万高原町では児童・生徒1人に1台のタブレットが配備されます。

●学習ツールと校務のクラウド化。GIGAスクール構想ではクラウドの活用を推奨しています。

●校務システムでは、教務、学籍、学校事務などを一括管理する「統合型校務支援システム」の運用を想定しています。

●ICTの活用。20年度から小学校で実施される学習指導要領には「情報活用能力の育成」や「ICTを活用した学習活動の充実」が明記されています。



「1人1台端末・高速通信環境」を活かした学びの変容イメージ

工夫次第で、
学びの可能性は無限大に。

例えば...

- ・理科の授業で、観察・実験の際に、動画撮影で、振り返りやよりきめ細かな分析が可能。
- ・社会の授業で、各自で収集した様々なデータや地図情報をPC上で重ね合わせて深く分析。

ステップ3

教科の学びをつなぐ。
社会課題等の解決や
一人一人の夢の実現に活かす。

例えば...

- ・検索サイトを用いて、授業テーマに応じて一人一人が様々な文章や動画を収集し、情報の真偽を判断し、整理する。
- ・一人一人が文章作成ソフトを活用し、推敲を重ねて長文のレポートを作成する。

ステップ2

教科の学びを深める。
教科の学びの本質に迫る。

ステップ1

“すぐにも” “どの教科でも”
“誰でも”活かせる1人1台端末

未来の学びのイメージ
(文部科学省HPより)



新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金をうけた主な事業



総務省におけるテレワーク推進の取り組みより

- 地形を情報化し活用するためのドローン購入費 139万円
- 町立病院住宅と美川支所の一部をテレワーク施設に改修 590万円

- 防災センター機器整備品購入費 176万円

- 役場内ネットワークの仮想化業務委託料 2376万円

- 都市圏からのテレワーク誘致支援事業補助金 321万円

- 地域公共交通機関の高度化支援事業補助金 (関連質疑6p) 4900万円

- 75歳以上の高齢者および75歳未満の障がい者を対象に交通利用権を交付します。 1330万円

- ささゆり荘の作業棟を隔離室・面会室として活用するための改修工事 389万円



移乗サポートロボット
(メーカーパンフレットより引用)

- 老人保健施設の移乗サポートロボット購入など 207万円

- 道の駅みかわの集出荷専用車両を購入します。(関連質疑7p) 150万円

- 避難施設感染防止対策支援事業補助金 200万円

- 公園整備用ラジコン草刈機購入費 311万円



千本高原キャンプ場



- 千本高原キャンプ場密集対策整備工事(整地を行います) 176万円



千本高原キャンプ場は、令和2年4月から、利用料が有料になり、久万高原町観光協会が指定管理者となりました。有料化してからの利用組数は、9月末現在で約900組となっており、今後も多くの利用が見込めることから場内の整備を行います。

- GIGAスクール経費 (特集記事3p) 9266万円

- 久万小学校北校舎の蛇口を自動水栓にします。 140万円

- 各小学校・中学校再開に伴う感染症対策・学習保障等支援事業 422万円

本会議・常任委員会 議案審議概要

9月24日に議案審議（本会議）、9月25日に総務文教厚生常任委員会、9月28日に産業建設常任委員会を開催しました。

議案を慎重に審査し、全会一致で可決すべきものと決定しました。ここでは、審査の中からいくつかの質疑を要約してお伝えします。



環境衛生センター跡地



解体工事

専決処分の理由は
環境整備のために緊急



環境衛生センターはごみ焼却施設を解体した跡地に、資源ごみを効率よく分別しストックできる、ストックヤードが建設される予定です。

答 河野町長

環境整備ということと、早く整えた。今後も専決処分についてはしっかりと判断をしていく。

中野 環境衛生センター解体工事の請負金額増額だが、この事業は緊急を要する事業でなく、また、金額も大きく専決処分に疑問を感じる。専決処分をした理由は。

企業会計

多額の繰出金どうする
新たな考え方を検討

瀧野 水道、下水道3事業については、繰出金の金額が大きい。将来的にはどうしていくのか。

答 総務課長

他会計負担金は経営にあたり必要だが、新たな考え方を検討する必要がある。

岡部 8月に発生した父野川地区の山林火災について、消防団の指揮命令系統が乱れたという話を聞いたがどうなのか。

答 消防長

消防団の指揮命令が混乱した。今後は現場判断や指揮など、消防団、危機管理室との連携を密にして、災害対応に努めたい。

消防 父野川山林火災の指揮系統は
消防団の指揮命令が混乱した



自ら避難することが困難な方への支援イメージ
(内閣府パンフレットより)

災害避難

個別計画書の作成状況は 今後進めていく

高橋 災害時の避難行動要支援者個別計画書が作成されていないと報道されたが、取り組んでいないのか。

中野 避難所に指定されている集会所には、エアコン設置を検討すべきではないか。

答 保健福祉課長

同意書の取得まではできている。個別計画は進めている。

答 総務課長

指定避難所の設備整備費用負担の在り方を検討していきたい。

路線バス

どんなシステムか バスが来る時間が検索できる

大原 路線バスの経路検索は、将来的に運行状況をリアルタイムで検索できるのか。

答 総務課長

路線バスが何時に来るか検索できるシステムになる計画。



診療所

改修工事の負担金は 取り決めによって徴収

中野 柳谷診療所と美川クリニック改修工事の負担金について、町が負担するものと事業者が負担するものとの違いについて説明を。

答 住民課長

柳谷診療所は維持管理を目的とした修繕などで負担金を頂く。美川クリニックの高圧受電設備装置は町の責任において改修するので負担金を頂いてない。

改修工事の計画性は 今後はしっかりと計画する

町民館



改修される久万町民館

瀧野 以前も改修しているが、今後は計画性をもって、建て替えや改修に臨んでもらいたい。

答 教育委員会事務局長

今後は計画性をもって対応していきたい。

町民館は来年3月いっぱいまでの予定で耐震改修を行います。併せて、町民の皆様の利便性が向上するように、エレベーターも設置されます。





ミニコンビニ機能を持たせました



町内作家の作品を集めたコーナー



リニューアルした道の駅みかわ

道の駅みかわ

野菜集出荷システムの概要は
町内全域を集荷する予定

天野 道の駅みかわ集出荷車両購入による集荷体制はどのような計画か。

答 ふるさと創生課長

美川地域だけでなく柳谷、面河、久万地域も対象とする予定。

し尿処理

松山市への運搬委託契約の進捗は
10月を目標に進捗している



し尿処理施設全景

岡部 松山市への、し尿運搬委託契約の進捗状況は。

答 環境整備課長

現在関係者と協議中であり、10月を目標に進めている。

中川 終末処理場管理委託費が年度途中で増額される理由は。

答 環境整備課長

脱水汚泥にしてリサイクルする方法から濃縮汚泥も処理する方法に変更となり、増額となった。

脱コロナ 今後の脱コロナ対策財源は
地方創生臨時交付金を活用

岡部 コロナ対策で、単独財源での対応を余儀なくされるケースも予想されるが、今後どのような姿勢で対応するのか。

答 総務課長

コロナ対策地方創生臨時交付金をしっかり活用していくが、地方創生は地域のアイデアをいかに絞り出すかであり、課内で連携を取り対応していく。

道 旧33号線は町に移譲されるのか
町 現状では聞いていない

中野 橋中津トンネルが開通し、旧33号線が町に移譲されると聞いたが、今後の維持管理に費用が要るものをもたらす必要はないと思うが検討していただきたい。

答 河野町長

まだ国交省から話は聞いていない。



地盤沈下が止まらない旧33号線



森林組合父野川事業所

森林組合

**製品の競争力低下が懸念
町も関わり検討する**

森 父野川の集成材加工場の機械が古くなり、新しい工場で加工された製品との競争力が低下している。どのように考えているか。

答 **林業戦略課長**
父野川、菅生の工場については森林組合も検討を重ねており、町も関わっていく。

LPWA

**LPWAの稼働状況は
実証試験を実施中**

岡部 LPWAの稼働状況の説明を求め

答 **情報政策推進室長**

全国初のシステム稼働で、不具合も発生し修正している。中継器バッテリーの大容量化も終わり、改修がある程度終了した時点で申込者に順次配布を行う。



LPWA実証試験

選挙

任期満了に伴う町選挙管理委員の選挙を行いました。選挙の結果、高岡富美雄さん（久万）、八石朱美さん（美川）、菅和繁さん（面河）、羽澤福一さん（柳谷）が当選しました。任期は10月1日から4年間です。

選挙管理委員会は、地方自治法の定めにより、議会で選挙された4人の委員で組織されます。委員の定数は、都道府県、市町村、特別区および指定都市も同数です。



人事

副町長の選任に同意



副町長に久万高原町役場前総務課長の佐藤理昭さん（東明神）を任命することに同意しました。任期は10月3日から4年間です。

令和2年 第4回 久万高原町議会定例会議案一覧表

議案番号	議 案	議案番号	議 案
	議席の指定	議案第91号	令和2年度久万高原町簡易水道事業会計補正予算（第1号）
	産業建設常任委員会の辞任について	議案第92号	工事請負契約の締結について
	産業建設常任委員会の選任について	議案第93号	久万高原町教育委員会委員の任命について
議案第76号	令和2年度久万高原町一般会計補正予算（専決第4号）の専決処分について	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第77号	令和2年度久万高原町一般会計補正予算（専決第5号）の専決処分について	諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第78号	令和元年度久万高原町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	報告第12号	令和元年度決算に基づく健全化判断比率の報告について
議案第79号	令和元年度久万高原町立病院事業会計決算の認定について	報告第13号	令和元年度決算に基づく資金不足比率の報告について
議案第80号	令和元年度久万高原町立老人保健施設事業会計決算の認定について	報告第14号	令和元年度久万高原町の教育に関する事務の点検評価報告について
議案第81号	令和元年度久万高原町簡易水道事業会計決算の認定について	報告第15号	株式会社いぶぎの経営状況報告書について
議案第82号	令和2年度久万高原町一般会計補正予算（第2号）	報告第16号	公益社団法人久万高原農業公社の経営状況報告書について
議案第83号	令和2年度久万高原町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第2号）	選挙第1号	久万高原町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について
議案第84号	令和2年度久万高原町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	選挙第2号	愛媛県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について
議案第85号	令和2年度久万高原町訪問看護事業特別会計補正予算（第2号）	報告第17号	工事変更請負契約の契約に関する専決処分の報告について
議案第86号	令和2年度久万高原町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	発議第6号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について
議案第87号	令和2年度久万高原町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	発議第7号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書について
議案第88号	令和2年度久万高原町浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）	発議第8号	医療従事者を始め地域の生活基盤を支える方々に対する敬意と感謝の表明及び差別や偏見等の根絶に関する決議について
議案第89号	令和2年度久万高原町立病院事業会計補正予算（第2号）	発議第9号	予算に関する特別委員会の設置及び委員の選任について
議案第90号	令和2年度久万高原町立老人保健施設事業会計補正予算（第1号）	報告第18号	工事変更請負契約の締結に関する専決処分の報告について
		議案第94号	久万高原町副町長の選任について

新議員紹介



令和2年8月30日執行の久万高原町議会議員補欠選挙において、無投票にて初当選させていただきました。

森 博 でございます。

久万地区菅生在住です。私は昭和55年に旧久万町役場入庁、平成16年の町村合併を経て平成30年3月に定年になるまでの間、久万高原町にお世話になりました。

その後は「道の駅 天空の郷さんさん」にて働いておりましたが、今年7月に農業委員に就任、今回町議となりさらに多忙となるため、今年8月末で退職しました。

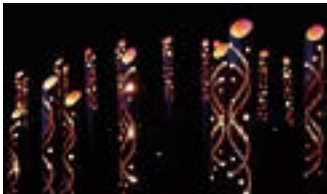
今後は、公民館・壮年会・剣道等の諸活動を通して得た人との繋がりを大切に、

町・道の駅の仕事で得た知識・経験も議員活動にも活かしていければと思います。

また、これからは空いた時間を有効利用し、学習会、社会奉仕活動や町おこし活動にも、今まで以上に参加し関わっていききたいと思っています。

今年には新型コロナウイルス感染症防止対策のため、各イベント・祭り等も縮小、中止が相次ぎ寂しいかぎりですが、たくさんの方の竹灯籠を作製し町内各地に設置する、新たな町おこしへの取り組みも町有志の手により始まっており、応援したいです。

新米議員ですが、少しでも多くの町民の皆様の声に届け、「元氣なまちづくり」、「だれもが夢を持ち暮らしたい・住んでみたいと思えるまちづくり」のために尽力する決意です。よろしくお願いします。



一般質問

5人の議員が町政を質す

9月定例議会では5人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。ここでは質問と答弁を要約した内容を質問順にお知らせします。要約は質問者自身が議事録を基に行い、会報特別委員会が校正したものです。

全文の議事録は町議会ホームページ (<https://www.kumakogen.jp/site/gikai/>) の「議会 議事録」からご覧いただけます。(議事録の掲載は11月中旬の予定です。)



瀧野 志 議員

SDGs「持続可能なまちづくり」を推進するための行財政改革について

大原 貴明 議員

障がい者が住み慣れた地域で生活する場について

熊代 祐己 議員

新型コロナウイルス感染症の対応について
コロナ禍の学校教育について

森 博 議員

コロナ禍が長引く中での、町内業者・町民への支援状況は
移住・定住の推進状況、空き家の整備状況は

岡部 史夫 議員

久万高原町総合計画（後期5カ年計画）について
中規模農家育成支援について
脱コロナ対策について

※通告順（発言順）に掲載しています。

20年後も住めるまちづくりのための行財政改革をどう進めるのか



瀧野 志議員

【答弁】 行財政改革実行プランを深掘り・進化した取り組みを行う

問 合併後16年が経過した。町財政が厳しい中、毎年150億円以上のお金を使っている。消防車等が通行できない町道や、危険な水路の改修ができていない箇所がある。町のお金の使い方の順番は、町民の安全安心を優先すべきと思うが、町長の考えはどうか。

答 河野町長 予算執行については、行財政改革が非常に重要であるとの認識のもとに、議会の意見をしっかりと聞きながらしっかりと対応していきたい。

問 地域の人口が減り、自治会が維持できなくなっている。10%や15%の改修工事の受益者負担が高いと思う。他町では町道改修について負担金を取らないところが多い。見直す時期が来ていると思うがどうか。

答 河野町長 負担金が大変だという話を伺っている。見直しに向けて早急に協議を行う。

問 多くの町有施設があるが、一つの施設改修や解体には数千万円の経費が必要だ。施設はすべて維持費がかかる。施設管理計画を立てて取り組むべきと考えるがどうか。

答 河野町長 町有施設をどうしていくかの検討委員会が開かれているので、そこで適切な結論が出るものと思う。必要な施設としない施設を分け、スクラップアンドビルドを念頭において進めていかなければならない。

問 町長は、若い人が多く住んでくれるまちづくりを推進し、若者の仕事場づくりに積極的に取り組むそうだが具体的に説明を。

答 河野町長 光通信網を活用し、町有遊休施設を利用したサテライトオフィスの整備や誘致を

行う。カルストや面河溪など本町の魅力を広報して、私が先頭に立ってワーケーション誘致に取り組みたい。本町の地域資源を生かした起業を目指す方には、中間支援組織「ゆりラボ」や地域おこし協力隊による支援など、本町への人や仕事の流れを創出し、安心して働くことができる場所づくりに取り組む。

問 地方分権一括法のもと、町の将来は町長が考えて経営するようになっていく。今後も様々に45億円を超える事業があると思う。人口減少や厳しい財政問題などがあるが、町の経営が見える公会計に取り組む複式簿記に取り組むべきと思うがどうか。

答 総務課長 公会計による決算公表は数年前から実施しているが、町民に分かりやすくという面では改善する余地がある。その意味で、町財政を一般

家庭の家計簿に置き換えたようなものを町民に公表したいと考えている。



ワーケーションとは「ワーク」(仕事)と「バケーション」(休暇)を組み合わせた造語で、会社員などが、休暇などで滞在している観光地や帰省先などで働くことです。仕事と休暇を両立させる働き方として注目されています。
※知恵蔵から引用

障がい者グループホーム整備への支援拡充を

【答弁】 入所定員に達している状態の解消に向けて、町有地活用などを検討する



大原貴明議員

問 町内には、高齢の保護者が障がいのあるお子さんを介護している老障介護の現実がある。この方々の心配は親亡き後の生活だ。自らの意思で自立した生活を望む障がい者や、親亡き後の生活を心配する方が、住み慣れた地域で安心して生活できる場について、町の現状と課題を伺う。

答 河野町長

障がい者福祉計画等のニーズ調査で、グループホームへの入所希望の声が上がっており、課題の一つと捉えている。現在はほぼ入所定員に達している状態だ。B型作業所でも様々な生活支援を行っている。その他に町外の施設やグループホームに40名ほどがいる。グループホーム新設などのため国の社会福祉施設整備補助金があるが、町内の法人への情報提供や、施設整備が急務であるとして町の意見書を提出している。また、久万高原町障がい者施設整備・備品購入費補助金制度

を設けており、財政上、可能な範囲の補助をしている。

久万高原町には障がい者グループホームが3カ所あります。17名まで入所できますが、1名分をショートステイ用としており、現在は16名が入所しており、入所定員に達しています。



問 町の施設整備補助金は、施設整備300万円、備品購入に100万円であり、何人もが共同生活を送る場の整備補助としては少ないと思う。遊休町有地や町施設の貸与、林業戦略課所管の木造住宅支援事業の

を設けており、財政上、可能な範囲の補助をしている。

補助要件緩和など、更なる支援策を考えてみればどうか。町長は2期目の公約に「SDGsを意識したまちづくり」を掲げた。SDGsの基本理念は「誰一人取り残さない」だ。困っている障がい者の方々が、地域で継続して生活できる場の整備促進のために障がい者福祉計画が実現できるような施策を創設していただきたい。

答 河野町長

入所待機の方がいることも聞いているし、整備計画も聞いている。また、多くの費用の捻出に苦慮している現状も承知している。支援については薄いという気もしている。指摘のあった町有地や施設の活用ができないか、急いで検討する。私の公約は1期目に続いて、障がい者や社会的弱者に優しい町が基本理念なので、このようなことにしっかりと対応していきたい。

この計画は障がい者の望む地域生活を支援することや、その他のニーズに対応するためのサービスを新設することについて推進することを目的としています。



久万高原町には18歳以上65歳未満の障がい者手帳保持者が約180名いらっしゃいます。地域で自立した生活を送るための場の整備が急務です。

新型コロナウイルス禍での学校教育は



熊代祐己議員

【答弁】 G I G Aスクール構想を前倒しして実行する



非接触型体温計

問 新型コロナウイルス感染症の対応について、町はどのような取り組みを行っているのか。

答 河野町長

新型コロナウイルスを想定した新たな取り組みは、町立病院、ささゆり荘でオンライン面会を行っている。役場では、事業者との協議、職員の研修会、災害対策本部会議でW E B会議を行っている。役場本庁、公共施設では体温検知器を設置し感染対策を行っている。

問 コロナ禍で町の経済活動を支援する取り組みは。

答 河野町長

町内事業者の活動支援を目的に、キャッシュレス決済普及拡大支援、プレミアム付商品券の発行、感染予防対策施設等の支援、消費回復対策事業者支援、新たな生活スタイル提案型イベント等支援など予算化して実行することにより地域経済の回復を図っていききたい。



見本

見本

問 コロナ禍の学校教育は。

答 小野教育長

G I G Aスクール構想の前倒しや、家庭内ICT環境の整備支援実現に向けた小中学校の高速大容量通信ネットワークの整備や一人一台端末の整備を行い、さらに充実した学習環境を目指していききたい。



問 W I T Hコロナに学びを止めない教育活動

答 小野教育長

これまで学校では、対面や配付用紙、電話を家庭との連絡手段としていたが、ICTを活用した学習サポートに加え、子供、保護者、教師の三者が関係性を維持し安心感を与え、文部科学省のガイドラインに沿って学習環境を整備充実させ、コロナ禍での安全、安心な学校運営を行っていききたい。



長引くコロナ禍の中での町内への影響および対策を問う



森 博 議員

【答弁】 影響は大きく、事業者、生活困窮者へ様々な支援を実施

問 町内事業者の売上への影響、町の支援状況、および今後新たに行う支援策は。

答 河野町長

新型コロナウイルス対策融資制度利用者の売上は前年同月比33%の減少。町の中小企業向け融資は42人が活用、融資制度利用者向け補助は69人が利用されている。今後は、家賃等助成、感染症予防に向けた施設改修・備品整備、キャッシュレス化に向けた事業者支援、入込客増加のための消費キャンペーンの実施、消費喚起に向けたプレミアム付商品券の発売などを行っていく。

問 町の補助金窓口および今までの町の補助金総額は。

答 河野町長

受付窓口はふるさと創生課に一本化されており、各課と連携を取り合いながら対応している。

答 ふるさと創生課長

融資に対する補助金事業については3200万円余りの補助金を予定。事業継続給付金については330万円余りの支出状況である。

問 業績悪化による従業員の雇止め・休業要請等による町内での生活困窮者の状況は。

答 河野町長

感染症の影響による一時的な生活困窮者に貸付を行う緊急小口資金の利用者は25名、収入減や失業等により生活に困窮している場合に貸し付ける総合支援資金の利用者は延べ21名となっている。

問 町内に感染者が発生した場合の対応マニュアルは。

答 河野町長

町立病院で対応マニュアル、チェックリストを作成。感染が疑われる患者が来院す

る場合には他の患者との接触を避け発熱外来で対応。町内で感染症の陽性者が出た場合は、保健所から役場への連絡を受け、町の対策本部において町インフルエンザ等対策行動計画に基づき対応を図っていく。

移住・定住の推進状況、空き家の整備状況を問う

問 ここ4年間での移住者数は。

答 河野町長

平成29年度から専門分野を設けて移住・定住の促進に取り組んでおり、本年8月現在で315名程度の移住者がいる。

問 移住者による空き家改修事業の利用状況は。

答 河野町長

平成29年度から現在まで、21件、事業費6810万円、補助額3330万円となっている。

問 老朽化した（未利用）空き家の対策は。

答 河野町長

防災機能に影響を及ぼす恐れのある老朽危険家屋については、国の社会資本整備総合交付金事業を活用し除去を行っている。この事業は、地域住民・相続人等からの相談を受け、担当職員が現地を確認、補助対策要件を満たせば、除去経費の5分の4（上限80万円）の補助を行うもので、現在までに7件の実績がある。また、要件を満たさなかった件についても緊急性のある案件に関しては、所有者に対し修繕や除去をお願いしている。



お試し住宅外観

策定中の久万高原町総合計画 (後期5カ年)の戦略方針を問う



岡部史夫議員

【答弁】 地域資源を活用して地域力推進強化を盛り込む

答 河野町長

デジタル技術を活用し地域創生、行政と地域協働づくりおよび地域資源を活用した稼ぐ力を掘り起し地域力推進強化を進める。

問

まちづくり基本条例による検証方法を遵守した行政評価をすべきであり、公平公正を基本として実行可能な計画にすべきではないか。

答 河野町長

5月・6月の町民アンケート調査結果を遵守しながら後期計画に反映させたい。

問

先の町長選挙の住民の選択は今後4年間の地域の暮らしと命を河野町政に預けた。住民の期待に応えられる覚悟は。

答 河野町長

町民の思いを胸に刻み、持続可能なまちづくりに向けてしっかり検証して、後期5カ年計画を策定する。

地域農業を守る中規模農家育成支援について

中規模農家の育成支援や若手農家育成に努める

答 河野町長

中規模農家が規模拡大を図る上で省力化・作業効率を上げる関係で農地の集約や集積化は必要だ。農地の出し手と借り手を集落自らが考えていただき、農地中間管理事業等の活用も含め、農地の集約、集積を図りたい。

問

耕作放棄地を防いでいる中規模農家のご苦労が地域の水田を守り、災害抑止に貢献している。現状は、飛び地・未整田・小面積等で効率が悪くコストダウンが難しい。また、水路維持補修等負担も多い。これらのことから現状を見通さず積極的に具体的な施策を検討すべきでは。

答 河野町長

若手の皆さんが農地を守っていただいている中、今後、差別化ができ、少しでも経

済的優位に立てるよう検討する必要があると考え、しっかりと取り組んでいきたい。

問

今後、農業の成長産業化・農業特区活用・フードチェーン農業に未来のヒントが隠されている。効率的な農業を進めていく上でも田植え等の省コスト化や分散する農地を数箇所

にまとめる農地集約は大事であり、「水田利用調整組合」の検討や併せて収入減を補う収入保険加入促進や保険料の負担軽減検討が必要では。

答 河野町長

今後において話が出た場合は支援の在り方について検討していく。

脱コロナ対策では町内の現状を踏まえた対策が計画されていくのか

町民の生活を下支えた取り組みを行う

答 河野町長

消費回復に向けた取り組み

として、町独自の消費キャンペーン、宿泊費・買物等の助成やプレミアム付商品券販売を進める。

問

GOTOイートについて、弁当、仕出し等デリバリー商品は対象なのか。

答 河野町長

対応上不十分なところがあれば、対応していく。

問

再度聞くが、デリバリー対応の答弁が無い。

答 ふるさと創生課長

デリバリー関係への対応は研究中であり、必要な対応に努めていく。

問

町内で事業存続が危ぶまれる代表格が料飲や宿泊関係だ。実効性のある対策を。

答 河野町長

社会活動、経済活動、文化活動復活に向けて検証しながら細心の注意を払いながら対応していく。

閉会中の主な議会活動

●6月定例会から9月定例会までの
主な活動です。

6月 30日	議会改革特別委員会
7月 1日	議会会報特別委員会
20日	全員協議会
22日	議会会報特別委員会
30日	議会会報特別委員会
8月 11日	全員協議会
12日	ICTでまちづくり特別委員会
24日	全員協議会
9月 9日	議会運営委員会
16日	議会運営委員会



まちの未来が見える・聞ける

議会を傍聴しませんか！

※一般質問・本会議（美川支所3F 議場）
※常任委員会（美川支所）

・本会議も常任委員会も傍聴できます。

9月定例会の傍聴者は13人でした。
（町職員・記者を除く）

《12月定例議会の予定》

9日	開会 一般質問
10日	議案審議（質疑）
11日	総務文教厚生 常任委員会（審査）
14日	産業建設 常任委員会（審査）
18日	本会議 閉会

おしらせ

議会の開催場所が
「美川支所」になります。

町民館の耐震改修工事に伴い、12月定例議会から令和3年3月定例議会まで、議会は美川支所議場にて開催されます。傍聴を希望される方はお間違いないようご注意ください。



傍聴、お待ちしております！

編集後記

お気づきと思いますが、議会だよりを大幅リニューアルしました。町民の皆様の生活が、議決した議案によってどのように変わるのか。それがしっかりとお伝えできるように紙面にしようということで試行錯誤しました。

すでに26号を発行しており、編集作業なども慣れていた中で、の大幅リニューアルであり、ほぼ一から作り上げたような形です。9月議会の議論でも出てきた言葉ですが、スクラップアンドビルドを実行したような感じです。もちろん、作り直したものが以前より悪くなったのでは何の意味もありません。

町の事業や施設についても、今後の人口減少社会に対応するためにはこのリビルドの考え方が重要になっていくのではないのでしょうか。

コロナ禍が収束しない状態で初めての冬を迎えます。ご自愛のうえ、体調管理には万全の備えをお願いします。

（大原貴明）